# 2023 年度 事業計画

#### 1、はじめに

# (1) 事業開始にあたって

MBT (Medicine-Based Town 医学を基礎とするまちづくり)とは、「住居医学」と「MBE」(Medicine-Based Engineering 医学を基礎とする工学・産業)」の体系の統合であり、超高齢社会に対応したまちづくりを行うと共に、医学の知識を基に新産業創生および地方創生、更には社会貢献活動を行うことを目的としている。

### (2) 本法人の事業価値

# 1) MBE: Medicine-Based Engineering 医学を基礎とした新産業創生

すべての産業に医学の光をあて、介護・見守り・交通・製薬・生活支援・エネルギー・補完代替医療等々、超高齢社会における産業全体に関わり、連携し自由闊達な活動を展開することで、あらゆる産業に医学の叡智を注入しながら、異分野連携による新産業創生に取り組む。

# 2) MBT: Medicine-Base Town 医学を基礎としたまちづくり

新産業創生の成果の活用を含め、医学による価値を付与した超高齢社会に対応した新たな「まちづくり」を、企業や自治体等の連携で提案・実行する。

# 3) 医学を基礎とした社会貢献

昨今の新型コロナウイルスの世界的感染拡大、さらには希少な疾患ゆえに社会から孤立しがちな難病患者の苦境などのような、これら社会課題に対して、医学の専門知識を活かし、社会生活や心身の安心・安全の確保や啓発に向けた活動を推進する。

以上の事業価値を見出し、超高齢社会を乗り切り、新産業創生、地方創生、社会貢献を果たす為に、2023年度の具体的な事業活動については次に掲げる活動を中心に取り組む。

#### 2、 具体的事業活動の概要

### (1) MBT 事業活動

# 1) MBT コンソーシアム会員を対象にした会員会議・相談会・交流会の開催

MBT 運営方針の徹底や、MBT の部会活動・分科会活動の諸活動やMBT 活動に関わる関連情報を、会員に報告し情報共有や会員の交流を促進することを狙いに、全体会員会議を、対面またはハイブリッド(対面+WEB)形式で計画する。状況が許されれば、その中で医学相談会や会員交流会も実施する。

#### 2) 産業創生・社会貢献に向けての部会活動、分科会活動の積極的推進

表1に示す、12部会、11分科会において、オープンベースの議論を通して、テーマ発掘や活動の深堀、事業化検討等を行う。

具体的には、新産業創出に向けての連携企業の絞り込み、また開発費の確保に向けた国や都道府県等の補助金申請や特区の申請活動などを検討し推進を図る。これらのプロセスが円滑かつ有効に進展すると判断される事案に対しMBT コンソーシアムの

予算面からも部会活動を支援する。部会は、現在の 12 の部会にとどまらず、産業創生、社会貢献を目指してタイムリーに新たな部会発足も目指す。

## 表 1.MBT コンソーシアム部会・分科会活動

MBTコンソーシアム部会活動状況

(2023. 2現在)

		MDIJZZZZ	即五泊到1人儿 (2023)			
No	部会名	分科会名	活動概要	奈良医大関係者	関係会員企業	
1	感染症部会	MBTコロナ患者見守り分科会	スマホアプリを用いた患者見守り実用化	笠原(敬) 教授他	KCN(株)	
		MBT感染症外来分科会	コロナ感染予防 プレハブ型診察外来実用化	笠原(敬)教授	大和リース㈱他	
		MBTコロナ不活化分科会	オゾンなどによるコロナ除菌実用化	矢野教授	タムラテコ(株)他	
		MBTリンク活用見守り分科会	MBT LINKを活用した患者見守り実用化	梅田研究教授	MBTリンク(株)	
		MBTコロナ対策・企業相談分科会	企業のコロナ対策を医学の知識を提供して無 料相談	笠原(敬)教授	日本経済新聞社他	
2	食品衛生部会		食の評価・医学的検定			
3	アンチエージング部会		認知症予防や進行評価			
4	通信部会		次世代通信応用システム実用化	梅田研究教授	富士通Japan ㈱他	
5	万博テーマ部会		万博会場実証テーマ提案	細川担当教授		
6	ビッグデータ活用部会		ビッグデータとAI連携で新ビジネス創出		凸版印刷㈱他	
7	スマートコミュニティ部会		再生エネルギー活用による新システム創出、 環境改善		関西電力㈱他	
8	医療福祉環境におけるアート研究部会		健康とウェルビーイング向上に有用なアート を研究		健康都市デザイン(研)他	
9	MBT研究所産学連携部会		幼児から高齢者までの健康見守り実用化	梅田研究教授	MBTリンク(株)	
10	産学金連携・フリーディスカッション 部会		奈良医大と会員企業とのシーズ・ニーズマッ チング	細川担当教授	会員企業全般	
11	難病克服部会	普及分科会	ロゴマーク付き協賛商品販売による普及活動		協賛企業38社	
		セミナー分科会	難病に関わる現状の啓発活動	杉江教授		
		映画分科会	映像による難病の啓発活動	川口教授		
	在宅遠隔医療部会	全国対応分科会	富裕層を対象にした全国ネットワーク対応型 MBTモデルの検討	梅岡MBT講師	梅華会	
12		地域支援分科会	奈良県中和地域の在宅医療支援を通して機材 やサービス検討	西尾教授	エア・ウォーター㈱他	
		在宅看護分科会	へき地を支える在宅医療ケアを支えるハー ド、サービス検討	小竹教授	㈱イムラ封筒他	
	l	1	4			

以下に、主要な部会の2023年度活動計画を示す。

#### ① No.1 感染症部会

・「MBT コロナ不活化分科会」と「MBT コロナ対策・企業相談分科会」は、MBT コンソーシアムも出資の奈良医大発ベンチャー企業2社 (MBT 微生物研究所株式会社、MBT 感染対策支援コンサルティング株式会社) が本分科会に関連する事業活動を行っているので、情報提供等の後方支援を引き続き継続する。

#### ② No.4 通信部会

・部会参加企業の多くや連係して活動する奈良先端科学技術大学院大学は、通信事業のみならず DX 事業に関するスキルや知見も保有している。種々デジタル事業課題の意見交換や検討ができる本部会の特性を活かして、奈良医大新キャンパスや医大周辺まちづくりの検討情報等を基にして、通信の有効性を活かした提案の可能性を検討する。加えて、これまで毎年参加している奈良県防災総合訓練に新たに提案できる内容も検討する。

#### ③ No.5 万博テーマ部会

・MBT は関西文化学術研究都市(通称:けいはんな学研都市)とともに2025年の大阪・関西万博の「協創パートナー」に名を連ねている。"いのち輝く未来づくり

のための実証実験や実装"を、大阪・関西万博の開催時期に合わせてけいはんな学研都市で行う催しについて引き続き検討する。

# ④ No.6 ビッグデータ活用部会

・2022 年度に引き続き、環境データ×バイタルデータを軸とした地域事業開発をテーマとしていきたい。事業コンセプトは、引き続きウェルネス/ウェルビーイングとし、新たな事業・サービス開発から地域課題解決を目指すものまで幅広く検討していく。具体的な活動としては、データ活用手法のブラッシュアップが図れる実証的な事業(国、自治体等)の受託を目指していきたい。

# ⑤ No.7 スマートコミュニティ部会

- ・スマートコミュニティの基礎知識の醸成、先進事例の紹介、先進導入施設の見学会等を通じて、具体的な事業モデルの検討に繋げる。また、他の部会と取り組み連携を図り、エネルギーや通信インフラの構築を支援する。
- ・2023年7月「スマートコミュニティ先進事例のご紹介(勉強会)」を開催予定。

# ⑥ No.8 医療福祉環境におけるアート研究部会

・奈良県立医科大学附属病院をはじめ医療者、医療施設や高齢者施設の事業者、病院建築に携わる設計士やゼネコン、有識者、アーティスト等を講師に、『アートフォーラム~医療福祉環境におけるアートの可能性』と題し、オンラインフォーラムを開催する。 その後、オンラインコンペティションを実施し、奈良県立医科大学附属病院をはじめ医療者、高齢者施設の介護職等も参画し、優秀作品を表彰し、医療施設や高齢者施設に良質なアートを継続的に提供していくエコシステムの構築を進める。

# ⑦ No.9 MBT 研究所產学連携部会

・生体×心理×環境×行動×・・・の統合データから個人のライフスタイルを評価し、ライフスタイルスコアを提示、健康アドバイスの最適化を検討。システムを構築する。 ノンウェラブルで対応可なところは進め、対象者にはウェラブルセンサを推奨する。 これらを民間、地方自治体と連携し展開。実証実験を通じ、システムの精度や完成度を 高める取り組みを実施する。

#### ⑧ No.10 産学金連携・フリーディスカッション部会

・MBT 活動の狙いでもある産業創生をめざして、奈良医大の研究者が保有する研究成果や現場ニーズを聞き取り、会員企業への呼びかけやマッチングに関わる打ち合わせの場の設定と議論を支援する。また、その場で出た課題や調査のフォロー、新たな議論の場の設定を行う。

#### ⑨ No.11 難病克服部会

- ・希少な疾患ゆえに社会から孤立しがちな難病患者の苦境を多くの人に理解いただく啓発活動として「難病克服キャンペーン」を<u>社会貢献活動の一環</u>で引き続き実施する。
- ・以下の3つの取り組みを継続して実施する。
- i) 協賛企業の募集・・・キャンペーンの趣旨に賛同して、協賛キャンペーンロゴマークを自社商品に印刷やシール貼りする、ホームページなどでもキャンペーンをPR支援してもらえる等の協賛活動企業を募集(費用負担は発生しない)する。
- ii) 難病克服支援 WEB セミナーの開催・・・難病に関わる研究者・医療介護者や患者支援者の活動を知らせ難病への理解を深めてもらうセミナーを実施する。
- iii)難病克服支援映画祭の開催・・・「みんなで守るいのち」をテーマに短編映画作品

を募集し、映像を通して難病の理解を深めてもらい患者や関係者を勇気づける映画祭を、第3回目も東京(於:よみうり大手町ホール)で開催を目指す。

### ⑩ No.12 在宅遠隔医療部会

・団塊世代の後期高齢者化、医療費や介護費のさらなる拡大などの削減対策として、 在宅遠隔医療が注目されている。これまでにも種々在宅医療のシステム形態が提案 されているが、ビジネスとしての成立する提案には至っていない。MBT活動の枠内 で会員企業と医療者連携の議論を行う中で、社会貢献やビジネスモデルが成り立つ MBTモデルを検討する。

# 3) 社会貢献活動(「難病克服キャンペーン」に加えて)

# ①経団連が主催する「地域協創アクションプログラム」に参加

本プログラムは、地域経済の持続可能な活性化に向けて様々な主体間での地域協創が必要として、経団連が地方創生の実現に向けた取り組み方針を示し、それに基づく様々な連携パートナーづくりを支援するものである。その中には10項目のプログラムが示され、その1つの「医療・育児・介護・移動など健やかで快適な暮らしの基盤を協創する」のテーマに、奈良県立医科大学とMBTコンソーシアムが連携先に選ばれた。医産連携による日本経済再生、自治体連携による地域活性化・地方創生、難病克服キャンペーン、在宅遠隔医療などで経団連会員との取り組みを提案する。

### ②奈良県が主催する「大和平野中央田園都市構想」に参加

奈良県は、交通アクセスが良く人が集まりやすい大和平野中央部(川西町、三宅町、田原本町)において、若者や女性の働く場の創出、県民の健康増進、暮らしやすさの向上を目指す「大和平野中央プロジェクト」を、国が提唱するデジタル田園都市構想に格上げすべく「大和平野中央田園都市構想」と称して構想検討を2021年度から開始した。そして、奈良医大&MBT コンソーシアムにも参加が要請された。MBT コンソーシアムは、会員企業と連携して奈良県が示した6分野15の候補テーマで会員とともに技術や事業化で貢献を目指す。

#### 4) 奈良医大発ベンチャー起業支援

奈良医大の大学運営方針として、奈良医大の研究成果を論文に仕上げること及び知財 出願のみならず、"アントレプレナーシップ"をもって社会に貢献する奈良医大発ベン チャーによる研究成果事業化の勧め"が引き続き示されている。

この運営方針は、奈良医大と連携して "医学を基礎とした産業創生による社会貢献 "を謳う MBT コンソーシアム活動の狙いとも符合するので、奈良医大発ベンチャー 企業の起業計画にも参画し、その事業性を見極める伴奏支援を行う。そして、一企業 当たり 30 万円を上限として出資する。

MBT

# 5) MBT ロゴマーク付与

MBTの活動理念を体し、医学的に正しいことが確認され、大きな社会貢献が期待される会員企業様の製品やサービスに対して、申請書に基づき第三者からなる審査委員会の審査を経て、MBTロゴマーク(右図)付与を承認する取り組みを継続実施する。ロゴマーク使用実施契約において、使用実施料についても2者間協議

で料率等を検討する。

<参考: これまでMBTロゴマークを付与した案件一覧(18社19件)>

通番 令和 月 日 該当商品 1 6 1 昭和西川株式会社 ~耳石に優しい~睡眠頭位調節マットレス 3 18 大和リース株式会社 MBT感染症外来ユニット 術中運動誘発電位(MEP)モニタリングに対応した弾性ス 5 モード・ユーニット工房株式会社 トッキング 5 株式会社ケアコム 波形連携ナースコールシステム(SafetyNet/MBT) 2 18 レック株式会社 アルコールジェル手指消毒剤 2 18 レック株式会社 アルコ―ル配合ウエットシート 8 ユーハ味覚糖株式会社 柿渋を使用したキャンディ 3 8 カバヤ食品株式会社 柿渋を使用したキャンディ 3 8 カンロ株式会社 柿渋を使用したキャンディ 5 10 春日井製菓株式会社 10 柿渋を使用したキャンディ 5 25 株式会社奈良ホテル 11 **New Normal Party Plan** 3 6 25 グラストップ株式会社 ガラスコーティング剤「GT-Aa系」 12 7 18 やまと真空工業株式会社 銅合金応用商品(マスク&仕切り板) 13 7 26 株式会社フジ医療器 トレビ・クリアゼロ(Fwo-3) 14 7 26 株式会社オーク製作所 スマートエキシマランプによるオゾン発生器 15 3 有限会社サンスバル バスター 8 10ppm 他4点 16 3 12 22 ゼノン株式会社 ZENON 特殊アルカリ電解水 (pH12.7) 奈良県吉野郡川上村の吉野杉を使った内装材および構造材の 18 4 8 2 株式会社イムラ

MBTロゴマーク使用許諾一覧 (2022年8月2日現在)

# 6)各種の催しや展示会への参加

19 5 1 26 株式会社三笠

MBT活動内容や活動成果を国内外の関係者にPRするため、学会や種々の催し、展示会等には積極的に参加する。

手指機能強化手袋

#### (2) MBT 広告宣伝活動

#### 1) 「**MBT** ニュースレター」の発行

MBT の種々イベント、会員会議、部会や分科会の活動、等々の諸活動について、タイムリーな情報をニュースレターとしてまとめ、MBT コンソーシアム会員や奈良医大教職員やOB・OG、更にはMBT の活動に深い関心を持つ一般人の方々にも、メールや印刷配布を行う。

### 2) ジャーナル「MBT CONSORTIUM」の発行

「MBT ニュースレター」で紹介した情報の集約や、MBT 活動の特集記事など、MBT 活動に関わる関係諸情報などを冊子にまとめ、会員のみならず国内外の関係者に配布広報し、MBT 活動の理解を深めていただくこと、更には活動参加を呼び掛けることを狙いに、年2回の発刊を予定する。

#### 3) イベント等に対応した広告の実施

MBT活動で実施のイベントにおいて、MBTの活動の狙いや取り組み内容を、一般の皆様、さらには首都圏の官庁関係者や企業人などを対象に、費用対広告効果を見極めながら、新聞広告、SNS(ツイッター、フェースブック、インスタグラム等活用)

広告を実施する。また、活動の動画情報をホームページや YouTube にアップし紹介する。

< 参考: 2022 年度 You Tube、ホームページにアップした活動紹介事例> 2023 年 1 月 第 2 回 MBT 映画祭の受賞作品、佳作作品の動画映像。 2023 年 1 月 第 2 回 MBT 映画祭の記録映像。

# 4) デジタルサイネージの活用による広告の実施

会員企業のクオール㈱と連携して、全国の直営調剤薬局のデジタルサイネージを活用し"健康情報やMBTの活動情報の提供"を目的で実施する。

### 5) 会員掲示板の実施

会員間の情報交流(新製品情報、会員ニーズ・シーズの紹介、会員からの連絡事等) に一役を買う形で、メールベースの会員掲示板を実施。

### 6) その他、広報活動

MBT の活動が、地域にとどまらず全国レベルで知名度や活動範囲を広めていくことを 狙いに、MBT 紹介資料や入会案内パンフレットを活用して会員の新規入会に向けた広 報活動を実施する。

# (3) MBT 運営活動 (奈良医大と連携し、本法人の事業運営を行う活動を含む)

#### 1) 奈良医大への委託研究

MBT活動の基礎となる種々研究、部会活動や個々の会員からの医学知識を必要とする相談対応への協力などをMBT研究所に委託する。

#### 2) 奈良医大との共同事業活動

奈良医大と本法人の双方に共通の利益をもたらす広告宣伝やイベントなどの諸活動等 を実施する。

<参考:2022年度共同事業活動>

2022/5, 8 奈良医大医学科&看護学科同窓会へMBT ジャーナルVol.10 配布 2022/9、2023/3 難病克服支援WEB セミナー(2 回実施分)

2023/1 難病克服支援 MBT 第 2 回映画祭

# 3) MBT の仲間づくり、輪の拡大

MBT活動を国内外に広くお知らせし、活動内容の理解を得て認知度を上げることが、 MBTの活動拡大や目的達成に繋がる。その取り組みとして、

- ① 産学連携活動、MBT 顧問活動、協賛企業募集活動等を通して会員拡大を図る。
- ② MBT連合作りに取り組む。
- ③ 大きな社会貢献活動実施組織と連携して活動の輪を拡大する。

(事例:「よい仕事おこしフェア実行委員会 (事務局:城南信用金庫)」との連携協定の 活用) 以上

# 2023 年度収支予算計画

# 2023年度MBTコンソーシアム予算計画

単位:千円

	収入		支出				
科目	科目 明細 予算案		科目	明細		金額	
繰越金		4,000	広告宣伝活動費	ジャーナル(年2回)	130		
				その他広告 (新聞、チラシ印刷、SNS他)	2,000	2,130	
会費収入	220口×5万円	11,000	イベント費	会議費(ZOOM契約、会場費他)	30		
				各種展示会参加費	600		
				部会・分科会活動費	400	8,480	
				オープンミーティング	150		
				難病WEBセミナー	600		
				MBT映画祭	6,500		
				MBT映画上映会(全国地域)	200		
事業補助収入	その他広告(1,000)	4,650	事業運営費	奈良医大研究委託費	500		
	WEBセミナー (300)			奈良医大施設借受費	70		
	映画祭(3,250)			通信費・郵送費	250		
	上映会((100)			商標出願・登録費	70		
				ロゴマーク審査謝金	80	4,670	
				顧問報酬・交通費	600	4,670	
				事務局人件費	2,200		
				ベンチャー出資費	600		
				(3 0万円×2社)			
				消耗品費	300		
雑収入	ロゴマーク使用料	200	次年度繰越		4,570	4,570	
合計 19,850			合計			19,850	

奈良医大と 共同折半事業